

第201回 全経簿記検定試験 上級 一 会計学一

模範解答

模範解答・予想配点・解説等は、学校法人高橋学園が独自の見解によって作成しており、検定試験実施機関における本試験の解答並びに出題の意図を保证するものではありません。なお、予告なしにその内容を変更する場合がございます。ご理解いただいたうえで、ご利用ください。

問題 1 [予想配点：丸数字は配点を示す、合計 40 点]

	正誤	理 由	
1.	○		③
2.	×	四半期財務諸表には、これらの他に <u>四半期連結包括利益計算書</u> （2 計算書方式による場合）も含まれる。	⑤
3.	○		③
4.	×	退職給付見込額の期間帰属の決定方法は、 <u>期間定額基準及び給付算定式基準のいずれかの方法を選択適用</u> とする。	⑤
5.	○		③
6.	×	リース債務は、 <u>1年基準により流動負債と固定負債に分類</u> する。	⑤
7.	×	<u>市場販売目的のソフトウェア及び自社利用のソフトウェア</u> については、無形固定資産に計上する。	⑤
8.	×	<u>繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示</u> する。	⑤
9.	○		③
10.	○		③

問題 2 [予想配点：丸数字は配点を示す、合計 31 点]

問 1	用 語		用 語
(a)	為替差損益	③	(d) 親会社が換算に用いる
(b)	株式取得時	③	(e) 為替換算調整勘定
(c)	発 生 時	③	

問 2

在外支店の財務諸表は個別財務諸表の構成要素となるので、本店の外貨建項目の換算基準と整合的であることが望ましいためである。

③

問 3

在外子会社は在外支店と比べ独立事業体としての性格が強く、親会社と同様の為替相場を使用することは実務上困難である。なお、収益及び費用は、一会計期間にわたって発生すると考えられるため、在外支店と異なる換算方法を採用している。

⑧

問題 3 [予想配点：丸数字は配点を示す、合計 29 点]

問 1

(a)	報告単位	③
(b)	共通支配下	③
(c)	共同支配企業の形成	③

問 2

取得と判定された企業結合は、実質的にはいずれかの結合当事企業による新規の投資と同じであるため、他の結合当事企業から受け入れる資産及び負債を時価で評価することが現行の他の一般的な会計処理と整合するためである。

③

問 3

(1) 取得原価が識別可能資産・負債の時価を上回る場合、のれん、下回る場合、負ののれん ④

(2) のれんは、無形固定資産に計上し、20 年以内のその効果が及ぶ期間にわたって定額法その他の合理的な方法により規則的に償却を行う。また、負ののれんは、すべての識別可能資産及び負債が把握されているか、また、取得原価の配分が適切に行われているかどうか見直し、見直してもなお、生じている場合に発生年度の利益として処理する。

③